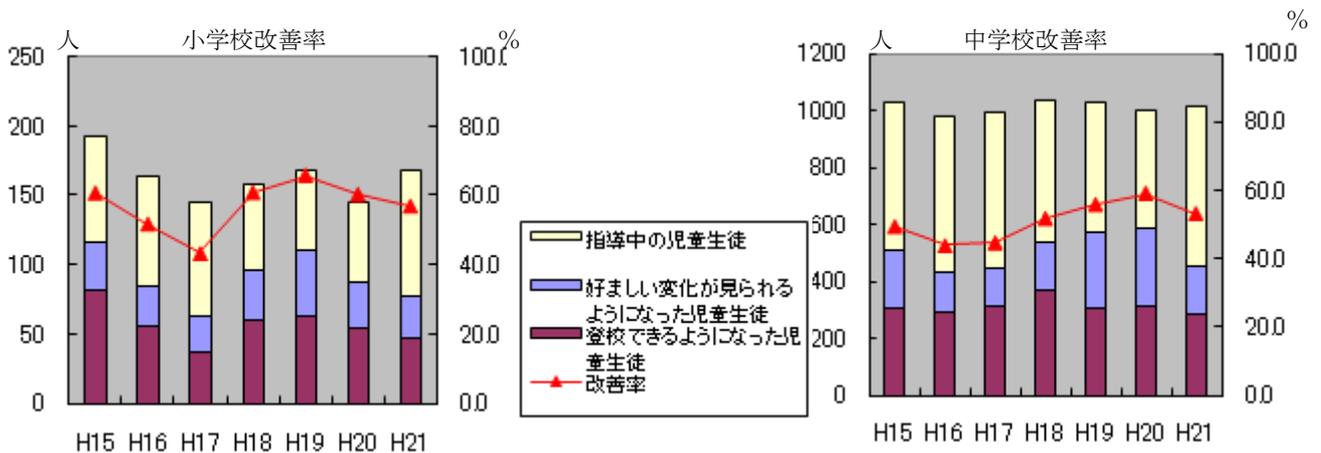


不登校の改善：冬休みの指導を大切に

平成 21 年度の問題行動等調査の結果では、改善率（不登校児童生徒のうち、「登校できるようになった児童生徒」と「好ましい変化が見られるようになった児童生徒」の割合）は、小学校では約 57%、中学校では約 53%、高等学校では、約 38% でした。

長期休業中は、児童生徒にとっては普段の学校とは違う環境であり、個別授業や家庭訪問などの働きかけが、改善につながった事例も報告されています。

冬休みというリソース（資源）を生かした取組が有効です。



総合教育センターWeb>教育相談担当
「校種別事例一覧」「テーマ別一覧」「キーワード一覧」で閲覧できます。
<http://www1.iwate-ed.jp/tantou/soudan/mysite3/index.htm>

冬休みというリソース（資源）を生かす

子どもの状態と対応のマッチングはありますが、「楽しさ」を冬休みのリソースとして考えたいと思います。

①冬休みの楽しいイベントを楽しむのびのびと！

子どもと一緒に楽しい時間を共有するという姿勢が大切です。そして、子どもが家庭で楽しく過ごすためには、保護者の関わりが不可欠です。保護者が子どもに対して、見守る関わりができるような支援ができたらと思います。

②みんながリソース！

家庭や地域での楽しい行事にはリソースとなる親戚、地域の人など多くの人との出会いがあります。そこで、エネルギーを得たり、登校のきっかけができたりするかもしれません。

③進級に向けてあわてないために・・・

「冬休みを楽しく過ごすための作戦会議」は保護者にとって、抵抗の少ない話題です。保護者を労いながら、年度末に向けて連携を強くしたいものです。

④学業エフィカシー（効力感）を上げよう！

時間のある冬休みに学習支援をし、「こんなふうに努力すれば、勉強ができて楽しくなるんだ」という感覚を育てたいものです。

(総合教育センター研修指導主事 大谷哲弘)

不適応対策に係る情報を発信していきます。不適応対策指導の参考に活用していただければ幸いです。

岩手県教育委員会事務局学校教育室生徒指導担当 (019-629-6145)

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=1813&ik=3&pnp=86&pnp=1779&pnp=1813>